北海道オープンデータ官民ラウンドテーブル

データ要望に関する回答（当日回答）

| 要望のあったデータ | 要望内容 | 回答部局 | 回答、今後の対応 |
| --- | --- | --- | --- |
| 相談支援窓口一覧等のデータ | * 生活保護の相談 * こころの相談窓口 * 生活困窮者自立相談支援機関一覧　等   恒久的で、変更がされることがないURLに機関別、制度別等でCSVとして提供してほしい。 | 総合政策部次世代社会戦略局DX推進課 | ＜現状＞  いずれも一定の一覧はあるものの、フォーマットが統一されていない。  ＜今後の方向性＞  優先的にほしいデータに関してまとめていただき、そこからDX推進課の方でまとめ、データ担当課とともに検討予定。 |
| 災害時に利用可能な避難所一覧 | 避難所一覧はすでに公開されているが、リアルタイム性を出してほしい。  災害発生時に、見守りアプリ利用者に近隣で利用可能な避難所を提示、レコメンドする。  必要な項目   * 避難所の名称 * 避難所の住所 * 緯度経度 * 避難可能人数 * 対応する災害タイプ | 総務部危機対策局危機対策課 | ＜現状＞   * 避難所開設状況（開いているかどうか、埋まっているか）が分かるシステムを道で運用。 * 町村職員が入力して表示されるものになるため、町村職員の入力がされることが前提。 * 道でも代行することはできるが、町村からの情報がもとになっている。 * 入力の協力依頼を市町村に対して実施中。   ＜今後の対応＞   * 市町村へ協力依頼の継続。 * オープンデータとしての公開はされていないため、データの公開方法は別途検討。 |
| ハザードマップ | 各市町村で、画像としては公開しているが、データ分析や機械学習をするために、メッシュ情報やもとになっている表データを出してほしい。  各災害時にハザードマップ情報から評価した避難経路や避難所をレコメンドする。  必要な項目   * メッシュの地理情報（緯度経度） * 各災害（土砂災害、津波、地震、洪水）での被害予想、危険度 | 総務部危機対策局危機対策課 | ＜現状＞   * 作成自体は市町村で行っているので、元データは北海道では持っていない。 * 国土交通省や国土地理院で収集、公開しているサイトがある。 * 収集協力依頼を市町村に対して実施中。   ＜今後の対応＞  市町村への協力依頼の継続。 |
| エネルギーの消費量データの継続的な公開 | 道有建物のエネルギー消費量データ  過去10年分くらいあると、気象等による違いが見られる。2000年くらい遡ることができれば、新型インフルエンザ、新型コロナウイルスの影響なども検討できる。 | 総務部行政局財産課 | ＜対応の方向性＞  継続的な公開は可能。  令和２年度分からについては、年度毎ではなく、月毎のデータを公開予定。  ＜公開時期＞  令和３年度中 |
| エネルギーの消費量データの過去分 | 道有建物のエネルギー消費量データ  過去10年分くらいあると、気象等による違いが見られる。2000年くらい遡ることができれば、新型インフルエンザ、新型コロナウイルスの影響なども検討できる。 | 総務部行政局財産課 | ＜対応の方向性＞  ７，８年に遡って公開可能（過去のデータは年度毎）。  ＜公開時期＞  調整中 |
| 建物データ | エネルギー消費量データと建物データを突合させるため、ユニークＩＤの検討を行ってほしい。 | 総務部行政局財産課 | ＜現状＞  システムで管理しており、現段階でＩＤを検討することは難しい。  ＜対応の方向性＞※検討中の案   * 次回システムのリプレース時期に、要件定義としてＩＤの付与を入れる。 * エネルギー消費量のデータと建物データを紐付ける中間ファイルの作成。（緯度経度を利用） |
| 道有建物の再生可能エネルギー情報のオープンデータ化 | 太陽光発電の実績値などのオープンデータ化 | 経済部環境・エネルギー局環境・エネルギー課 | 事前連絡により解決済み。 |